

宇津木台 森遊会 実施報告

「第10回定例活動」

No.2014-10

実施日	2015年1月25日(日) 10:00~14:00	天候：快晴	記録：金森
場所	宇津木台緑地(八王子市久保山町2-1)		
参加者	参加者：6名(男性5、女性1) 後藤、細野、伊東、中村(弘)、田原、平家 インストラクター：金森		

実施内容

活動4年目の第十回目。朝の冷え込みはきついが日中は暖かく、作業で動けば汗ばむ陽気。丁度、1年前と同じく、水辺の整備と昼食に温かい鍋を用意、今年は讃岐うどんをいただいた。オリンパス駐車場にて道具を身に着け現地の小川へと向かう。昨年までに整備したエリアには全く手を付けず、続きの部分から笹や雑木を伐ってゆく。少数精鋭にて作業はどんどん進行する。休憩含めて約1.5時間作業した。小川の終点(終点とは、緑地の北側を走る道路とぶつかる部分で、ここから先は地下へ流れこんでいる)まで残り30mほどを残すだけとなった。

小川の水質をチェックしてみる。(株)共立理化学研究所のパックテストを使用した結果は次の通り。

テスト結果：2015年1月25日午後12時
 気温不明、水温不明、上流の湧き水部分にて
 ・COD化学的酸素要求量 …8以上 [ppm]
 ・アンモニウム態窒素 …0.2 [ppm]
 ・亜硝酸態窒素 …0.005 [ppm]
 ・硝酸態窒素 …1 [ppm]
 ・りん酸態りん …0.2 [ppm]

CODやりん酸態りんが大きな数値を示したということは、水中に何か反応するような物質や汚れが多く含まれるということ。アンモニウム態窒素と硝酸態窒素に数値を認めたが、中間物質となる亜硝酸態窒素が小さな値なのでそれぞれ自然の樹木などから入ってきたものと考えられる。結局のところ見た目に

濁っており、綺麗な水とは言い難い状態にある。小川の整備が全て完了した時点で最下流の水質もチェックしてみたい。自然の浄化作用でCODやりん酸態りんの値が小さくなる可能性がある。



森遊会の備品置き場を掃除する 大量の落ち葉が腐葉土化



小川の未整備部分は先が見えない 作業開始



切り開いてゆくと池が現れる



面する崖には巣穴らしきものが



急斜面にもかかわらず作業を進めて明るくしてゆく



すっかり明るくなり終了



ご苦労さまでした



パックテストの様子



今年は讃岐うどん で温まる

連絡事項 ・怪我、ヒヤリハットなし。 ・ボランティア袋は大1個を保管、次回と合わせて回収を依頼する。